

|      |                                       |   |
|------|---------------------------------------|---|
| ■ 目次 | 友の会会長挨拶 / 会費納入のお願い                    | 1 |
|      | 令和2年度友の会総会報告                          | 2 |
|      | 会員随想                                  | 3 |
|      | 吉田東伍記念博物館Twitter紙上紹介! / 友の会伝言板 / 編集後記 | 4 |

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1 (阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)  
TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016 web版友の会通信 <http://wind.ap.teacup.com/togo/>

博物館HP [http://www.city.agano.niigata.jp/togo\\_museum/index.html](http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html) E-mail [y.togo@oregano.ocn.ne.jp](mailto:y.togo@oregano.ocn.ne.jp)

## 令和2年度定例総会中止に伴う諸課題について

吉田東伍記念博物館友の会 会長 長谷川 明 一

令和2年3月、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、政府は緊急事態宣言を発出しました。社会インフラ・市民生活の自粛を受けて3か月余りが経過しました。この間、個人の生活はもとより、経済活動、芸術文化活動などあらゆる諸活動も自粛や中止を余儀なくされました。当会の定例総会も「友の会通信」前号でお知らせしましたとおり通常開催を中止し、運営委員のみの出席により7月12日(日)に別途開催しました。

今年度は、「友の会通信」の発行回数を増やし、ホームページ等の電子媒体を通じた情報発信の充実など、新しい生活様式にあわせた活動の試行に努めていきたいと考えています。また、友の会活動の方向性を長期的な視野に立って進めるべく熱心な意見交換がなされました。

当会の活動も20周年を越えて、次の25周年・30周年へとつなげる大切な段階に入ってきました。そのため、活動の現状分析を図り、解決すべき問題点などを整理し、そして、新たな段階に組織をグレードアップすることも模索しています。会員の皆様にご意見をいただきながら進めていきますので、これからも変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

### 会費納入のお願い

#### 会費 (年額)

- 一般：2,000 円
- 学生(大学生以下)：500 円
- 家族会員：3,000 円
- 賛助会員：1口 10,000 円

- 本通信と行き違いで既に会費を納入された場合はご容赦願います。
- 今年度の会費納入は、ウイルス感染の機会を少なくする観点から、「友の会通信」前号に同封しました振込用紙を使用して行ってください。

平成30年10月14日に除幕した碑は、草木と苔が成長した周囲の景色に溶け込んできました。博物館は、マスク着用、手指の消毒など、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで開館しています。ぜひご来館のうえ、東伍生家と日本庭園の風景とともに楽しみください。

「吉田東伍生誕之地碑」近影▶



# 令和2年度友の会総会(代替開催)報告

令和2年度総会は、7月12日(日)午前9時30分から博物館(吉田東伍生家)で開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため運営委員のみの出席による代替開催です(12名出席)。机を広く配置し、ソーシャルディスタンスを保ちながらの開催となりました。

議事は、長谷川明一会長の開会あいさつ後に会長を議長として進行了しました。令和元年度事業報告・決算報告(会計監査報告)、運営委員の選任、令和2年度事業計画・予算案について慎重審議の結果、原案どおり承認されました(詳細は議案書を参照)。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で講演会、研修旅行、コンサート、サークル活動などを例年どおりのスタイルで開催することができません。総会ではSNSなどを活用した情報発信・広報活動が議論になりました。友の会の公式ホームページを作成し、「友の会通信」やコンサート・講演会などのオンライン配信をめざすなど、非常に前向きな議論が展開され、「新しい友の会活動」を模索しました。

なお、令和2年度予算案では例年どおりの事業内容に基づいて事業費を計上していますが、支出については予備費も含めた柔軟な対応を行っていきます。

当会は今年度で設立22年目を迎えます。友の会活動の新しい段階をめざす取り組みも始まっています。博物館をさらに盛り上げて、楽しく学ぶ活動を展開していくために、運営委員一同、誠心誠意取り組んでいきますので今後ともよろしくお願い申し上げます。(友の会事務局)

## ○令和元年度事業報告

| 期 日                | 内 容                                                                                    | 備 考                         |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 6月 15日(土)          | 令和元年度 吉田東伍記念博物館友の会総会                                                                   |                             |
| 8月 2日(金)           | とんとむかしを聞く会                                                                             |                             |
| 8月 3日(土)           | 阿賀野市立吉田東伍記念博物館コンサート2019<br>TOGO Museum Ensemble 第21回演奏会<br>夏休みこども博物館 ～0歳からのファミリーコンサート～ |                             |
| 9月 23日(月祝)         | 世阿弥大学(第34回国民文化祭・にいがた2019)<br>主催:世阿弥大学実行委員会                                             | 協力事業                        |
| 10月 6日(日)          | サロンコンサート Vol.17 ～木管五重奏の愉しみ～                                                            |                             |
| 11月 7日(木)<br>8日(金) | 秋の研修旅行<br>～吉田東伍博士の講演地・群馬県太田市と岩宿遺跡・足利学校～                                                | 最少催行人数に達しなかったため中止           |
| 3月 22日(日)          | 第19回研究発表会<br>発表テーマ:星空への招待・特別編『星のかずかず語りつけぬ』<br>発表者:廣田 正博さん(友の会会員、サークル「友の会天文部」責任者)       | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年度に延期 |

## ○令和2年度事業計画

### 【行事】

| 期 日       | 内 容                                                                      |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------|
| 7月 12日(日) | 令和2年度 吉田東伍記念博物館友の会総会<br>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため運営委員の出席による代替開催               |
| (開催未定)    | ※9月以降の行事(研究発表会・演奏会など)については新型コロナウイルス感染症拡大防止に努め、参加者の健康と安全に配慮しながら開催することを検討中 |
| 通 年       | ①吉田東伍記念博物館の博物館活動への協力                                                     |
|           | ②パネル巡回展の実施                                                               |
|           | ③紙芝居「吉田東伍の生涯」の巡回                                                         |
|           | ④他の文化団体との連携・協力                                                           |
|           | ⑤学校教育への支援                                                                |
|           | ⑥公式ホームページの開設(新規)                                                         |

### 【友の会サークル】※活動日は未定

白河荘を歩く会(責任者:小林 弘)  
 ‘花’の会(責任者:小野里 澄子)  
 友の会天文部(責任者:廣田 正博)  
 能を愉しむ会(責任者:長谷川 明一)

### 【機関誌】『友の会通信』の編集・発行(4回)

### 【会 議】運営委員会/事務局会議(随時開催)



コロナ自粛のおかげで我が家に帰省する子、孫たちが誰もいない五月連休を過ごした。この何十年來で初めてのことである。そして自分自身も他所に行くことが憚られたので、私はこれを好機とばかりに近隣の里山に何回も足を運んだ。金津白玉の滝周辺や、五頭いこいの森周辺などである。気の合う仲間二、三人と一緒にだったり妻と二人だったりもしたが、多くはひとりで気ままに呆れられるほど何回も足を運んだ。

数年前まで私は植物とはまるで縁も興味もなく草木の名前もほとんど知らなかったが、たまたま偶然が重なり「県立植物園友の会」に入会してしまった。はじめは植物観察に生きがいを感じている人たちを観察するのは面白いかもしれないという程度の邪心しかもっていなかったのに、年数回の観察会や毎月の学習会に参加するにつれ、いつの間にか植物が面白くなり、今では植物が一番の興味の対象といっても過言ではない。ミイラ取りがミイラになった、の体である。高齢になってからの学習なので植物の名前を覚えることがなかなか難しい。今聞いたことでもすぐ忘れてしまう。ただ幸いなことに、友の会の人たちは同じことを何回でも教えてくれるのが有り難い。

今回の自分だけの観察会は普段の観察会とは異なり、数週間に渡る同じところでの2、3日置きを観察だった。白玉の滝では旺盛に広がっていたミヤマハコベが少しずつサワハコベに置き換わり、アズマシログネソウが花をつけ実になり、明るく輝いていたネコノメソウが次第に地味な色にくすんでいき、ウラシマソウが釣り糸をのばした。五頭の薬科大学薬草園では至る所に咲き誇っていたケナシヤブデマリが装飾花を落とし始めると今度は自分の番だと言わんばかりにカンボクが花をつけ始め、次にはガマズミが、そしてヤマボウシが純白の花を陽光に輝かせた。当たり前のことだが一日として同じ日はない。植物は精一杯の力と華やかさでデビューを飾り、次なる命への準備を見せてくれる。同じ場所での植物の変化の連続的観察は自然という大舞台でのドラマを見ているようなものだ。主役脇役が次々に入れ替わり実に面白い。

金津石油の里近くの露頭ではモウセンゴケの群落も見つけた。モウセンゴケはコケではなく多年草で立派な顕花植物であることを知り、実際にその極小の花の開花を観察できた。ロウバイというよりむしろオオヤマレンゲにそっくりな、白くて大きなナツロウバイの花を見たのも初めてのことであった(薬草園)。皮肉なことだが普段出来にくいことをコロナがさせてくれたというわけだ。

私はそもそも自然科学系の人間であるが、こんなに生の自然、手で触れることのできる自然と向き合うことはこれまでほとんどなかった。大袈裟に言えば、自然そのものを自分の中に取り込み、自分も自然の中に取り込まれているような感覚を会得してきつつあるように感じる。新潟は自然に恵まれている。何も無理して遠くまで行かなくても十分に好奇心を満たしてくれる場所が近くにいくらでもある。幸せなことだ。

最後にコロナについては聞き飽き、話し飽きているので何も言うまいと思っていたのだが、一言だけ考えを述べたいと思う。この疫病はそう簡単には収まらずそれぞれの国や社会の有り様を問うているのかもしれないということだ。国により対応も異なり疫災の程度も様々だ。人種や環境、社会習慣により状況は異なるが、感染防止、経済的サポートの両面において迅速かつ効果的な対策を実行し国民と政府の信頼度が高いのはドイツやフィンランド、台湾をはじめとした女性首長の国が多いということは興味深い。このことは将来の社会の有り様に関して何かを示唆しているように私には思える。今回ほど賢明な判断ができ、信頼に足る指導者をもつことの重要性が身に沁みたことはない。この指導者にしてこの国民である(本当はこの逆ですね)。賢明な国民でありたいものだ。

## 吉田東伍記念博物館 Twitter 紙上紹介!



吉田東伍記念博物館のツイッター (@y\_togo).を是非ご覧ください!



館蔵資料や友の会活動の紹介など最新情報が随時更新されています  
今回はリツイートが多かった6月21日の部分日食に関する記事をご紹介します

阿賀野市立 吉田東伍記念博物館 @y\_togo 令和2年6月22日

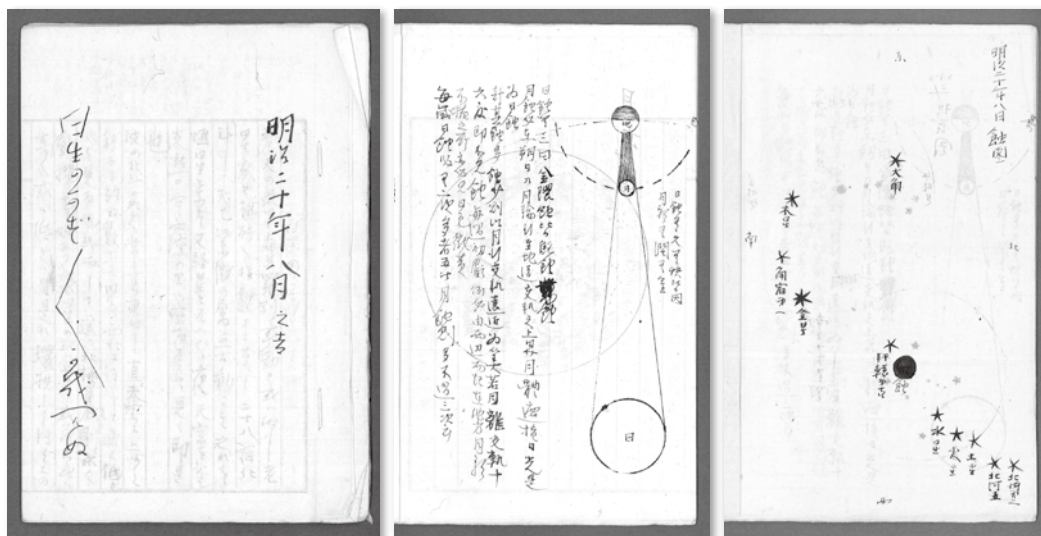
昨日、日本各地で見ることができた部分日食。

日食といえば、日本初の科学的な皆既日食観測が成功したのは1887年8月19日。

三条市大崎山（永明寺山）山頂でのこと。

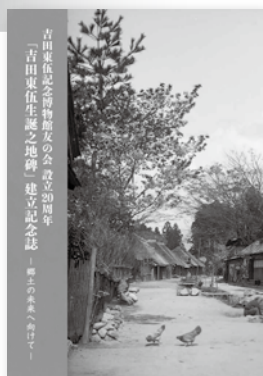
当時水原小学校の教員をしていた吉田東伍も見学に出向いたようです。

⑤は手稿「星のかずかずかきつけぬ」（事前研究ノート）常設展示



### 友の会伝言板 事務局より

- ①『吉田東伍記念博物館友の会設立20周年「吉田東伍生誕之地碑」建立記念誌—郷土の未来へ向け—』（B5判・100頁、2019年3月発行）絶賛発売中です。頒布価格は、500円。新規入会者には1部贈呈します。
- ②新規会員を募集しています!ご近所、ご家族、ご友人に入会のお声がけをお願いします。
- ③原稿を募集しています!『友の会通信』の「会員の研究ノート」「会員随想」「友の会伝言板」のコーナーへの投稿をお待ちしています。詳しくは友の会事務局までお問い合わせください。



### 編集後記／

春が過ぎ、もう夏を迎えました。気持ちも新たにといきたいところですが、新型コロナウイルスの影響で日常が大きく変化しつつあります。「STAY HOME」の日常は、読書、整理整頓、そして、考える時間の確保などももたらしています。友の会活動も熟慮の時間が続いています。光明はきっと見つかるはず。会員の皆さんの「声」を聞き、運営委員一同がよく相談して取り組んでいくことが、コロナ禍にあっても会の活動を継続していく近道と考えています。

(事務局T)

### 令和2年度 吉田東伍記念博物館友の会運営委員

| 役 職     | 氏 名           |
|---------|---------------|
| 会 長     | 長谷川 明 一       |
| 副 会 長   | 百 都 政 弘       |
| 副 会 長   | 藤 崎 達 也       |
| 会 計 監 事 | 廣 田 正 博       |
| 会 計 監 事 | 渡 辺 ヒ サ       |
| 運 営 委 員 | 五十嵐 一<br>(新任) |
| 運 営 委 員 | 小 野 民 裕       |
| 運 営 委 員 | 小 林 弘         |
| 運 営 委 員 | 白 井 皓 一       |
| 運 営 委 員 | 信 田 久 榮       |
| 運 営 委 員 | 渡 辺 興志和       |
| 事 務 局   | 小野里 澄 子       |
| 事 務 局   | 田 中 洋 史       |